

膀胱全摘術、回腸導管造設術(Cx+IC)を受けられる患者さんへ

(作成者: クリニカルバス専門部会)

氏名
患者ID

担当医
担当看護師
配布日

	入院: 1病日	2病日	3~4病日	5~6病日	7病日	8病日	9病日	10~18病日	19~23病日	24病日: 退院		
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1~2日目	手術後3~4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	手術後8~16日目	手術後17~21日目	手術後22日目	
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・水分出納バランスがとれている ・痛みによる苦痛がない		・ストーマの状態、ストーマ周囲の皮膚に問題がない		・面板交換の手順を理解し主体的にできる					
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します											
手術	手術											
注射	・点滴をします		・点滴を抜きます									
検査	・採血 ・尿検査 ・身長・体重測定		・採血		・採血(手術後1日目) ・レントゲン(手術後2日目)		・レントゲン		・採血		・体重測定	
処置	・ストーマの位置決めを行います		・創部の処置をします(毎日)									
	・15時と寝る前に下剤を内服します		・朝、浣腸をします		・手術室で尿の管(ステント)を入れます		・ステントを抜きます					
	・弾性ストッキングを着用します		・フットポンプをつけます		・フットポンプを外します							
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます		・酸素飽和度モニターを外します							
食事	・夕食(低残渣食)後は、指示された時間から、飲食はできません		・飲食はできません		・医師の指示後、飲水を開始します		・昼食から栄養剤(GFO)を開始します		・昼食(5分粥食)から開始となります		・昼食から7分粥になります	
活動・安静	・制限はありません		・病棟内でお過ごしください		・ベッド上安静です ・身体の向きを変えたい時や便意がある時は、ナースコールでお知らせください		・朝から座位になれます ・午後から歩行できます。初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください		・制限はありません			
清潔	・シャワー浴をしてください		・洗面、歯磨きを済ませてください		・洗面、歯磨きを介助します		・身体を拭きます		・シャワー浴ができます			
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・感染予防、転倒転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います ・集中治療室入室について説明します ・「尿路ストーマ造設術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、ストーマ管理について説明します		・ストーマ管理について説明します ・器具交換 ・尿棄棄手技 ・ストーマ周囲スキンケア ・トラブル・異常症状とその対処法 ・物品管理 ・オストミーセンター面談 など		・1日1000~1500ml程度の水分をおとりください		・「尿路ストーマ造設術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活に対する指導をします		・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します			
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・手術に必要な物品を確認します ・集中治療室入室の際に持参する物品をまとめてください		・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていきます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は7階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください		・集中治療室に入室します ・入室中のご家族は、集中治療室前の家族控室をご利用ください		・状態に合わせて病室に移動します		・必要な方には、医療ソーシャルワーカーが社会資源活用のための調整をします		・管理栄養士が行う栄養指導の日程を調整します	
			・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください									

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。